

WORKING TIME

桐生さんの1日

- 5:30 起床
- 7:00 出社
- 8:00 朝礼後、現場のトラブル処理へ
- 12:00 昼休み
- 13:00 間伐現場の立ち会い
- 16:00 会社に戻って事務仕事
- 19:00 退社
- 23:00 就寝

現場のトラブルに駆け付けます

8:00



現場責任者としてトラブル対処も桐生さんの仕事。組合では昔は主伐がメインだったが、現在は間伐がメインになっている。

会社に戻ってから書類作成仕事を

16:00



日中は何かと現場に行かなければならないことが多いので、提案書の作成などは会社に戻ってからになります。

PRIVATE TIME

桐生さんのちょっとプライベートコーナー



趣味は川釣り、海釣りですが



忙しくて年3回行ければいいかな



現場管理、あと今日のように現場で何かトラブルがあると呼び出されます。森林施業プランナーの資格を取得してから間伐業務が増えました。組合では昔から材の直接販売をしていたので材木市をやめてもマ

イナスにはなっていない。——仕事をやる上で気をつけていることはありますか。山主さんに間伐を提案するときは分かりやすく説明し、質問に丁寧に答えるようにしています。森林

施業プランナーの資格も役に立ちますが、やっぱり今まで現場で経験したことをもとにして話をしているので説得力があると思います。長い林業経験は私の強みです。——今後の目標は。間伐の面積をもう少し

——若者に林業の魅力をごのうに伝えたいですか。自然の中で仕事ができるのは面白いし、自分の仕事の成果が見えるところもとてもいい仕事だと思います。今でも現場で手が足りないのと伐倒でも重機でも手伝います。現場仕事が好きなので喜んで行く感じもあります(笑)。私の林業経験も伝えていきたいです。

この日は現場スタッフから「フォワーダの動きが良くない」との連絡があり、様子を見るために現場に赴いた。「現場で何かあると「どうしたらいいでしょう?」と電話が来る。頼られているというより、何でもやらないとなんです」



林業マン INTERVIEW

中蒲みどり森林組合

KIRYU YUICHI

桐生要一



1966年、五泉市(旧村松町)生まれ
五泉市在住(51歳)
林業経験30年目

長い林業経験が自分の強み 若手にも魅力を伝えたい

——入社した当時はどんな仕事をしていたか。

現場作業が中心でした。毎日、木を伐つて、重機を動かしていました。平成7年から組合で材木市を開催するようになり、それから市場業務も加わりました。

——材木市も担当されたんですか。そうです。平成9年から本格的に市場担当になって、市場業務を行いながら森林経営計画を立て、間伐を行う。現場にも行かなければならないので大変でした。

——平成27年に森林施業プランナーを取得したきっかけは。組合では昔から買い取り林産をやっ

ていたので森林施業プランナーが行う提案型集約化施業と仕事内容はあまり変わらないんです。平成24年から認定制度が開始されて以降、利用間伐の仕事の中で森林施業プランナーの資格が必要となるものができたので取得しました。

——資格を取るの大変でしたが。筆記問題は勉強する必要がありました。二次試験(施業集約化の実績についての面接シート提出と面接試験)は自分の経験がいかされません。自信を持って臨みました。

——現在の仕事は。平成28年に材木市をやめたので、今は森林施業プランナーの仕事に現